

第15期 第3回 砂防公開講座 実施報告

平成23年10月29日 第3回砂防公開講座を開催しました。天明3年（1783）の噴火の足跡を訪ね、大災害を記録する浅間石や東京大学浅間火山観測所、孀恋郷土資料館等の見学を行い、噴火の歴史や火山観測の現状を学びました。参加者22名

9

《見学コース》 ①お助けのカヤ → ②金島の浅間石 → ③供養地藏 → ④やんば館 → ⑤東京大学浅間火山観測所 → ⑥プリンスランドの浅間石 → ⑦孀恋郷土資料館 → ⑧ 鎌原観音堂

西 真佐人
事務所長
より出発前
にあいさつ



小島宏一長野原出張所
長より、当時の被害状況
等を説明して頂きました。



「お助けのカヤ」車窓から
「金島の供養地藏」浅間石の上に
石地藏が15体置かれています。



「金島の浅間石」



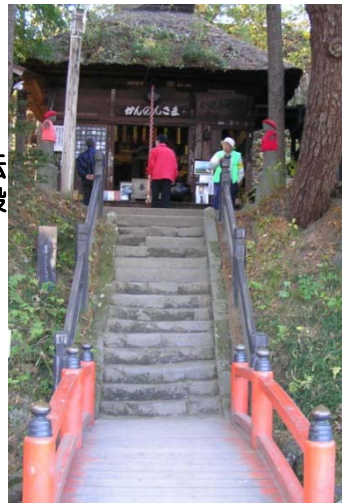
浅間火山観測所の小山先生
より噴火にいたるまでの様々
な観測方法等について説明
して頂きました。



埋没した
鎌原村から
発掘された
品々を
展示

生死を分けた
15段の石段

当時150段
余あったと
伝えられる
石段熱泥流
は15段を
残して止
まった



「鎌原観音堂」



「噴火により堆積した地層」



「観測所敷地の紅葉」